

# 一般質問に 7人が登壇

9月定例会では、7名の議員が一般質問を行いました。その中から主な質疑応答の要旨を、質問した議員の要約により掲載します。

なお、会議中の発言および答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(12月初旬掲載)

伊奈町議会ホームページ

<http://gikai02.kaigiroku.jp/ina/>

議員氏名	質問事項
鳥井文典(P6)	1、太陽光発電の推進について。 2、産廃処理施設の設置や建設に関する条例について。
永末厚二(P7)	1、地域福祉計画の策定を。 2、合併新法期限内の合併の考え方を。 3、地域包括支援センターの現状と今後の課題。 4、学校施設の耐震補強の迅速な取り組みを。
村山正弘(P7)	伊奈中央線について。
佐藤弘一(P8)	1、北部の道路問題について。 2、町おこしの巨峰ワイン・梨ワインについて。
大谷保雄(P8)	1、安心・安全・防犯・犯罪対策について。 2、集中豪雨時における水害対策は。
水上邦雄(P9)	1、希望の持てる介護保険制度に。 2、人事院勧告について。 3、職員の雇用の安定を。 4、原油価格高騰対策を。
大沢 淳(P9)	1、来年度の予算編成に臨む町長の基本姿勢。 2、ひとり親家庭の実態と支援策。 3、後期高齢者医療制度の改善。 4、地球温暖化防止のため自治体の果たす役割。 5、ごみ処理広域化の今後と町独自の減量化対策。 6、今後の都市計画道路の整備計画と新たな都市計画決定。

## 太陽光発電設置の際補助金制度の復活を

検討したい



とりいぶんてん  
鳥井文典 議員

問 地球温暖化対策として国は太陽光発電の普及

に相当力を入れる計画だ。家庭用太陽光発電を

設置する際、国では設置補助金制度を復活させるようだ。町としても補助金制度の復活を。

答 他市町村の動向を把握し、町の財政事情も考慮しながら検討したい。

問 企業向けの設置補助制度も創設しては。

答 県の「環境みらい資金」の活用をPRしたい。

問 普及促進のPRを。

答 設置推進のためのPRも合わせ検討したい。

## 産廃処理施設建設時の粉争防止条例制定を

問 産廃処理施設建設が計画されるたびに地域住民とのトラブルが発生している。住民の理解を得る努力義務を課し粉争防止を目的の条例の制定を。

答 条例の必要性や効果また制定の可能性等十分に調査研究したい。

問 現に県内の9市町で制定し活用しているが。

答 それも含め研究する。



普及が待たれる太陽光発電



むらやままさひろ  
**村山正弘** 議員

**問** 第一期整備区間の進捗状況はどうか。  
**答** 栄三丁目からN-T-T交換局の550mについて、

**問** 第二期整備区間N-T-T～県道上尾蓮田線の間

**伊奈中央線  
水道庁舎 県道上尾蓮田線間の本  
格整備をすべきだ**

**将来県道として都市計画決定しており県の  
事業としての早期整備を要望していく**

**問** 県は平成22年度末の整備完了を目標としている。

**答** 第二期整備区間N-T-T～県道上尾蓮田線の間  
北本県土整備事務所長には、管内課長会議、県予算編成時期には、町村会を通じて要望をしてい

**問** 国の取り組み姿勢と町の取り組みにギャップはないか、対策に必要な経費概算を出し、国の意

**答** 県は両区間とも現段階では具体的時期など、詳細が未決定である。

**問** 早期実現へむけて県との折衝状況はどうか。  
**答** 知事には町長から機会あることに要望している。

**問** 中央区画整理事業が進み、第三期整備区間である水道庁舎～上尾蓮田線間の交通量が増大している。

**問** 中央区画整理事業が進み、第三期整備区間である水道庁舎～上尾蓮田線間の交通量が増大している。

**答** 県は平成22年度末の整備完了を目標としている。

**問** 第二期整備区間N-T-T～県道上尾蓮田線の間

**答** 第二期整備区間N-T-T～県道上尾蓮田線の間

**問** 第二期整備区間N-T-T～県道上尾蓮田線の間



ながすえこうじ  
**永末厚二** 議員

**学校施設の耐震補強を迅速に**

**平成25年を最終としているが可能な限り早めたい**



**耐震補強が必要な南小学校**

気込みに沿った迅速な対応をすべきでは。

**答** 小針小学校体育館・プール棟は改築で実施、経費は約6億円程度になる。小針小学校北校舎は経費的に小額でかつ短期間で済むので本年度内に耐震補強工事を実施したい。

**問** 経費は確定できていないが、平成24年度までに南小学校校舎の耐震補強を実施・完了、25年度までに伊奈中学校校舎を完

了させる予定、可能な限り早めて行きたい。  
**合併新法期限内の合併の考え方は**

**問** 合併が絶対条件ではないが合併新法の期限は平成22年3月で切迫している、町民の意向確認をし、合併新法期限内での一定の方向付けをする事は町長を含む私たちの責務ではないか。  
**答** 合併は、日常生活圏の拡大や地方分権、厳し

い財政状況等の中、町の重要課題と認識している。

今後、自治体間の合併意識の醸成や基本的事項の一定の合意形成がなされ、合併の相手方が、ある程度鮮明化した段階で、住民の方々にその方向性を示し、是非を問う所存である。

その他、地域福祉計画策定、地域包括支援センターの現状の質問をしました。



**早期整備が望まれる第3期整備区間**



児童の安全を守るPTAの皆さん

さとうこういち  
佐藤弘一 議員



圏央道開通に向けて町の考えは

県をはじめ隣接市と協議し早期に整備できるよう努力する

**問** 伊奈中央線は寿一丁目目で現在行止まり状況である。今後の考えは。

**答** 桶川市の都市計画道路は倉田五丁台線及び国道蓮田鴻巣線へネットワークさせ圏央道へのアクセス道路として役割を担う位置付けとしている。北部区画整理事業の進捗に伴う熟度や圏央道開通見通し等、県と協議しながら整備プログラム策定の上、早期に整備できるよう努力していく。

**巨峰・梨ワイン今後は？**

**問** 閉店が続く酒販店の現状であるが、販売状況、今後の考えは。

**答** 巨峰ワインは平成14年に商工会が中心となり、次に梨ワインは町がオブザーバーとして参加した。生産者や和飲倶楽部の代表者から、厳しい状況は何っている。町として、今後も生産者、商工会、和飲倶楽部など意見を伺いながら側面から支援をして行く。

安心・安全・防犯・犯罪対策について

安心安全な町づくりのため危険度を勘案し、計画的に防犯灯の設置に努める



おおたにやすお  
大谷保雄 議員

**問** 危険な暗がりを見直し、防犯灯の設置を。

**答** 地域の状況を把握し、計画的に防犯対策を

講じる。

**問** 通学路の交通安全対策は。

**答** 教職員、保護者を中

心に、小中学校で通学路の総点検を実施する。

**問** 子どもの防犯対策は。

**答** 子どもを一人にしない。集団登下校を実施。また緊急避難場所として地域の協力を得、子ども110番の家278軒設置して

**問** いじめ問題と対策は。

**答** いじめは決して許されない行為で、いじめられている子を徹底して守る事が肝要。その上で、指導を徹底し、早期解決

のため情報を共有、相談体制等に取り組んでいく。

**ゲリラ豪雨対策は**

**問** 道路冠水被害が予測される地域や場所は。

**答** いっどこで起きるか予測は困難。町の東部は浸水被害の可能性高い。

**問** 災害予防策は。

**答** 防災意識をもつことが重要。震災、風水害等町民に周知、地域自主防災組織等充実強化を図る。



伊奈中央線（寿一丁目）



伊奈中央線

介護サービスは  
利用者の実情とニーズに併せて

個々の利用者の状況に応じて  
具体的に判断していく

問 保険料第3段階までの料率の引き下げと激変緩和措置を継続すべきだ。

答 第4期計画で慎重に検討していく。

問 介護認定の見直しは慎重に行うべきだ。



みずかみ けんじ  
水上邦雄 議員

答 適正な調査となるよう努めていく。

問 福祉用具購入・住宅改修費用は本人全額立て替え払いを止めるべきだ。

答 現物給付は研究し対応していく。

問 地域密着型サービス6施設、グループホームしかない。施設の拡充を図るべきだ。

答 町内利用のため事業者が進出に躊躇する傾向にある。状況をみなが

ら検討していく。

問 保険を利用できない人への対策を考えるべきだ。

答 相談に応じていく。  
社会保障の充実

問 町長は社会保障充実を国に要望すべきだ。

答 安易に社会保障費を削減することなく、国民の視点に立った十分な議論を望んでいる。

問 臨時職員3割は問題、とりわけ同一労働の保育士は正職員にすべき

### 都市計画道路の優先順位は

### 伊奈中央線が第1位的

来年度の予算編成

問 町長の公約をどれだけ実現できるか。

答 各小中学校の耐震補

強設計は緊急の課題、来年度予算化する。

ひとり親家庭への支援

問 父子家庭にも児童扶

おおさわ じゅん  
大沢 淳 議員

だ。

答 有資格者には賃金額で差をつけている。

問 燃料高騰対策を実施

すべきだ。

答 県の制度・町の利子補給補助制度の活用等をPRしていく。



こむろん家 グループホーム

養手当を。

答 今後、国の動向をみながら研究したい。

後期高齢者医療制度

問 75歳以上の方にも人間ドックと保養所施設利用の補助を。

答 広域連合の財政支援など見極め今後充分検討したい。

地球温暖化防止

問 庁舎、出先機関での省エネ運動の推進を。

答 冷暖房機器の運転短縮、公用車使用の削減等に取り組んでいる。

ごみ処理広域化の今後

問 ごみ減量化を強力にすすめる、単独での処理を。

答 状況を見ながら慎重に検討したい。

都市計画道路の整備

問 伊奈中央線の北部方面の整備は。

答 桶川市の倉田五丁台線、県道蓮田鴻巣線へネットワークさせ、圏央道へのアクセス道路として位置付けている。面整備と同時が財政的にも有利。